



歯にかみニュース



2022年
3月

ISAHAYAFUJITA DENTAL OFFICE 諫早ふじた歯科・矯正歯科

オーラルフレイル 予防方法とセルフチェック

「オーラルフレイル」とは、**口腔機能が衰えた状態**を指します。かむ力の低下や舌の動きの悪化が食生活に悪影響を及ぼし、身体機能の低下につながります。さらには滑舌が悪くなり、人と楽しく食事ができなくなって閉じこもったりと、人や社会との関わりが減ってしまうことで心理的、社会的にも悪影響を及ぼすと言われています。

オーラルフレイル チェック項目	はい	いいえ
半年前と比べて、硬いものが食べにくくなった	2	
お茶や汁物でむせることがある	2	
義歯を使用している	2	
口の渴きが気になる	1	

オーラルフレイル チェック項目	はい	いいえ
半年前と比べて、外出が少なくなった	1	
さきイカ・たくあん位の硬さのものが噛める		1
1日に2回以上、歯を磨く		1
1年に1回以上、歯医者に行く		1



オーラル フレイル
|| Oral Frailty
(口腔) (虚弱)

お口の健康レシピ

福岡県歯科医師会より

すき昆布と根三つ葉の酢醤油炒め
調理 時間 30分

【材料(4人前)】【分量】

すき昆布(乾燥).....200g
豚小間切れ.....100g
根三つ葉1株(約70g)
油.....少々
醤油.....大さじ1.5
酢.....大さじ1



- (1) すき昆布は水で戻したら、ざく切りにして水気をしぼる。
- (2) フライパンに油をしき、豚肉を炒める。
- (3) 色が変わってきたら、(1)を加え、ざっと炒めたら3cm長さに切った根三つ葉を加えて炒め合わせる。
- (4) 鍋肌から醤油、酢を加えて仕上げます。

【チェック結果】

- ① 合計0点～2点 オーラルフレイルの危険性は低いです。
- ② 合計3点 オーラルフレイルの危険性があります。
- ③ 合計4点以上 オーラルフレイルの危険性が高いです。

オーラルフレイル対策の為に

① かかりつけ歯医者をもちましょう！

お口の状態は日々変化しています。かかりつけ歯科医をもち、気になることがあれば相談を。また、3か月～半年に一度は歯科検診を受けましょう。

② お口のささいな衰えに気を付けましょう

オーラルフレイルは、「むせやすい」「お口が乾燥する」「滑舌がわるくなった」等ささいな衰えが積み重なることで進行します。早くお口の不調に気づくことができるよう、セルフチェックを習慣づけましょう。

③ バランスのとれた食事をとりましょう

バランスのとれた食事は健康なからだを作る基礎となります。また、様々な食品をとることでかむ機能の低下を防止できます。食事の際は、よくかんで食べるように心がけましょう。

パタカラ体操

パタカラ体操は、しっかり口を動かして、大きな声で行います。例えば、「パパパ、タタタ、カカカ、ラララ」とくり返します。これらの発音はどれも一連の食べる動作にかかわっています。



「パ」は食べ物を口の中に取り込んでこぼさないようにする動き、「タ」は舌を鍛えて食べ物を押しつぶす動き、「カ」は食べ物をのどの奥に送って嚥下しやすくすると同時に、鼻腔を閉じて食べ物が鼻に入らないようにする動き、「ラ」は舌の上に食べ物をまとめて飲み込みやすくする動きに関係しています。



院長の挨拶コーナー
「日差しの温かさを感じる季節」

寒さも緩み、本格的な春が近づいてきました。コロナは落ち着くところを知らず、依然猛威を振るっておりますが、心だけでも温かく春を迎えられるように心の栄養を蓄えたいですね。



春とともに皆様に幸せが訪れますようお祈りいたしております。

院長 藤田浩一
ICOI インプラント指導医



諫早ふじた歯科・矯正歯科
諫早市多良見町中里129-14

0957-43-2212



QRコードからHPをご覧ください